

柿崎かわあばん



編集発行：柿崎まちづくり振興会 電話:025-536-2140 FAX:025-536-2558
柿崎区総合事務所3階
http://www9.plala.or.jp/kakizaki-ku/
mail : sukidesu-kakizaki@brown.plala.or.jp

第10号
2009.3.31 発行



生涯学習フェスティバル
3月7・8日開催



今年初めて生涯学習フェスティバルに参加しました。会場の熱気に圧倒された2日間でした。私が担当した「生け花」ブースは、池坊と小原流の共催でした。流派を超えて、生け花を楽しむことができるのは、生涯学習ならではのと感じました。特に体験コーナーは人気が高く、少し手ほどきを受け、自分の感性で花を生ける楽しさを大勢の方が体験されました。「生け花」を通して人の輪が広がり、生活に潤いを増すことができましたら最高だと思います。

『生け花』は楽しい

碓井 和子(池坊)



生涯学習フェスティバル
に参加して

高橋 エツ子
エーデルワイスの会は、現在6名の会員で、月2回柿崎区民会館でオカリナの練習をしています。そのほかに上越新堀ギター音楽院の日曜学校で上越市民ギターオーケストラでの合奏、色んな楽器の人達と練習をしています。

柿崎区の生涯学習フェスティバルやコンサートに参加して、音楽を聞いたり、演奏したりして、音楽に感動と元気をもらいたいと思っています。



三味線演奏

楽しかったスキー教室

木村 美月

エンジョイスキー教室
1月18日・2月15日・3月1日開催

私は、今年はじめてスキー教室にさんかしました。赤くらスキー場でするのをはじめで、せなか合わせのゴンドラにびっくりしました。

コーチに教えてもらいながら、広いゲレンデですべて、とても気持ちよかったです。

友だちといっしょにすべったり、カレーを食べたりバスにのったりして、とても楽しいスキー教室でした。



楽しかったスキー

今井 尚弥

ぼくは、エンジョイスキー教室に参加しました。3年生から参加したので、これで3年目です。なので、もうスキーには慣れていて、速いスピードで滑れました。転んでしまう時もあるけど、すぐに立ち上がって滑り続けました。今回は、ストックをついてターンする事を習いました。スキーはとても楽しいです。

映画『川の流れるように』

3月1日、まちづくり振興会、教育文化部主催による映写会が開かれました。

昼の部、夜の部ともに大好評で、320人という大勢の方から観に来ていただきました。冬季のチケット販売は苦労がありました。映写会に来られた皆さんから喜んでいただけました。

人生いろいろ、山あり谷ありますが、仲間を大切に、自分らしく生き生きと過ごすことが大切だと、改めて感じることができました。

皆さんはいかがでしたか？



国体標語入選作表彰式

2月21日(土)、地区公民館でハンドボール標語表彰式がありました。

293件もの応募があり、どれも夢と希望に溢れた素晴らしい作品ばかりで、選ぶのに苦労しましたが、20点を入選作品とさせていただきます。

入選作品は、標語として区内の公共施設等に貼り出したり、国体会場に飾る予定です。

応募してくれた皆さん、ありがとうございました。



キラリ☆輝き人

整体師 吉崎 司さん
以前、柿崎ドームに勤めていた吉崎さん。

スポーツをされる方の体のケアを考え、自分に何か手助けできる事ないか?と一念発起して整体師を目指す事に。

東京での修業後、この春柿崎に帰ってきました。

夢は?の問いに「ご相談にいられた方の痛みをなくす!」との答え。

体の痛い方、一度ご利用してみても・・・。



ドームで健康づくりを!

ランニングコースは、歩いて、走って、いい汗がかける217メートルのコースです。

トレーニングルームには、体を鍛えるマシンが20種類27台完備しています。筋トレであったも汗を流してみませんか。

多目的フィールドは、野球練習に汗流す中学生、少年野球の児童たち、ゲートボールを楽しむ愛好者の皆さんで賑わっています。ぜひお出かけください。



柿崎探訪

百木地区

新部 達雄

上越市より環境美化運動に花の苗を無料にて頂くことになり、ちょうど団地県道歩道間に適した土地があるので、集落役員さんと話し合い、植え付けることに決定いたしました。

町内会長さんから、老人会の皆さんに植え付け・草取り・手入れの協力をしていただけないかと依頼され、老人会役員にお願いしましたところ、気持ちよくお手伝いいただきました。

県道を通られる皆様の目の保養になれば幸いです。これまで3年間、横川線を車、バイク、自転車等にて通られた皆さんは、一目でも見られたことと思います。

今年も植え付けることになった時は、ぜひご覧になってください。



満点カード回収のお知らせ

まちづくり振興会が会員の皆様に発行している会員カードは満点になりましたか?

満点カードは振興会事務局または、柿崎地区公民館窓口へお持ちください。

◎事務局開設時間

平日9時～3時30分

◎べ切 4月21日(火)

◎当選者は、4月29日の総会とかわらばんにて公表いたします。



柿崎が育んだ偉人

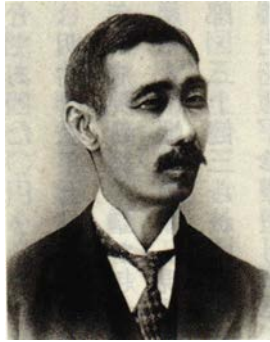


ライオン(株)創始者

小林富次郎①

知ってたあ！ライオンの創業者が『柿崎』出身者なんだって

ハミガキ粉や洗剤で有名なライオン(株)の本社が東京都墨田区にあります。その創業者である小林富次郎翁は柿崎区直海浜の出身であるご縁で、昨年墨田区との交流事業を行いました。そこで郷土の偉人である小林富次郎翁を皆さんにご紹介します。



小林富次郎

富次郎は、歯磨きや洗剤などで有名なライオン株式会社の創業者である。その生涯は、まさに波瀾万丈であった。死の瀬戸際に至っても人を思う気持ち、命を大切にすることを決して失う

ことのなかつた人道の達人であった。そのことが起業家としての富次郎の屋台骨となっている。小林家は、頸城郡下美守郷犀浜組直海浜村にあった。その祖先は馬正面村の旧家であったが、宝暦4年(1754)に直海浜に移住した。富次郎の父喜助は、当時(幕末の頃)の社会情勢で関東出稼者として、武州北足立郡与野町に寄留して酒造業を営んでいた。

富次郎は、嘉永5年(1852)1月15日、与野町で小林喜助の2男として生まれた。4歳のとき、ふるさと直海浜に帰され、16歳までの13年間、祖母に育てられた。その間、手習師匠小林一溪にそろばんや和漢の書などを習った。13歳のとき重い眼病に係り、失明するとまでいわれたが、神仏への願掛けと付近の目医者による手厚い治療で最悪の事態は免れた。

元服を済ませた16歳のとき、富次郎は父や兄を助けるために再び与野町の出店に戻り、酒造りに励んだ。明治4年(1871)、20歳で柿崎村の馬場仁右

衛門の四女はん子と結婚した。その3年後、父喜助が他界したため、家業の酒造業は兄の虎之助が継ぎ、富次郎は兄を助けて製造販売に精進した。

ところが、幕末の動乱に際し、幕府は軍用金調達のために突如、納税違反を理由に罰金3千両を小林家に請求し、酒蔵の持ち主である井原清兵衛を召し捕るに及んだ。虎之助・富次郎兄弟は、この大金を調達して納めたが、それにより酒造店は倒産に追い込まれてしまった。兄弟は相談しあつて、当時、流行の先端であつた豚と兎の売買を始めた。一時は暴利を得たが、その反動で巨額の負債を追つてしまい、ついには武州を去りふるさとに帰らざるを得なくなつてしまった。

(続く)



ライオン(株)本社

今後の予定

- ・ 4月29日(水・祝) 10時より通常総会
 - ・ 5月4日(月・祝) みなとさかな祭り
- なべ輪ピック



編集後記

日、一日と春らしくなってきましたね。所々、緑が目につきます。

ふきのとう、白魚・・・春の食材が食卓を飾るようになって来ました。

子供のころ苦くて食べられなかつたふきのとうが最近では美味しく感じられ、大人？になつたなーと思う今日この頃です。

(編集員 H・I)